

# 大森文化会館だより

2021年4月 No. 17  
編集・発行 大森文化会館  
南宇和郡愛南町城辺甲 2962-1  
TEL/FAX 0895-72-0837

※令和2年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から、入場者数を制限しています。

## 令和2年度事業報告 人権・同和教育講座「あることをないことにしない」

令和3年1月30日は愛南町人権ふぉーらむを開催する予定でしたが、コロナの影響で中止になったため、人権・同和教育講座を愛南ケーブルテレビで放映することになりました。

講師に大湾 昇 氏（徳島県絆創膏の会）を迎えて、大森文化会館で撮影し、複数回にわたり、愛南ケーブルテレビで放映されました。

大湾氏は、1974年、徳島県の被差別部落に生まれました。香川県の大学を卒業後、徳島県同和対象地区教育専任指導員として勤務し、2005年から、自身が受けた部落差別の経験に基づき、同和問題を中心とした、さまざまな人権課題についての講演活動を、全国各地で展開しています。

講話の中で、大湾氏が初めて部落差別を受けたのは18歳の時、当時付き合っていた彼女からでした。大湾氏はとっさに「言わなかったらバレへんよ」と彼女に言いましたが、後になって、この発言は自らを差別していたことに気付いたそうです。

そして、講演活動をしていく中で「自らを隠さずに生きることが、誰かにとっての支えになる」と確信したそうです。 ※コロナ対策を実施の上、撮影しています。



大湾 昇 氏

## 人権・同和問題学習「つくし会」令和2年度活動報告

### 7月17日 勉強会「全国の差別事例から学ぶ」

各学校の人権・同和教育主任に対し、学校で起こった差別事象を紹介しました。他県での対応方法としては、「差別された人たち」という教え方から「差別と闘い、乗り越えてきた人たち」へ方針転換した事例を紹介しました。

### 8月21日 新任教諭・新規採用職員研修会「同和問題学習」

対象者16名は、講師の城辺小学校 飯田 豊一 校長から同和問題学習について講義を受け、飯田校長のことは「考えようとする努力、気付こうとする努力、そして、自分を振り返る」を聴き、同和問題への取り組みを強く認識しました。

## 9月18日 元気の出る講演会「同和教育と共に」

講師に宝本 志保 氏（宇和島市吉田町遠見子ども会保護者）を迎え、17名が聴講しました。宝本氏は「頑張るのは大人たちであって、子どもたちが頑張る必要はないんだよ」と語っていました。



## 10月16日 南予地区人権・同和教育研究協議会の模擬発表会

宝本 志保 氏

報告者2名の発表に対し、参加者11名が想定される質問をしたり、助言をしたりしました。

## 11月20日 小・中・高 人権・同和教育への取り組み発表会

24名が参加し、うち報告者の学級担任3名（城辺小学校6年、御荘中学校3年、南宇和高校2年）は、現在実施している同和教育や新型コロナウイルス感染症に関する人権教育の内容を発表しました。

この取り組みは、進学してきた学生が、進学する前の学校で、どのような人権・同和教育をしていたのかを把握し、自校の人権・同和教育に役立てることが目的です。

近年では、部落差別は中世から存在しており、江戸時代に入ってから部落差別は強化されていきましたが、被差別部落の人たちは差別と闘い、乗り越えてきたと教えています。

## 12月17日 各種大会報告会

15名が参加し、報告者の一人から「これからは、寝た子を起こすな論はどうしていけないのか、理解したうえで、同和問題学習に取り組んでいきます」との発表に、宮崎 和友 館長から「そっとしておいても部落差別は、なくなっていないことが現実です。寝た子は正しく起こす必要があるのですが、そのためには、学習が必要です」との助言がありました。

## 1月22日 元気の出る講演会「南澤 笑子さんの想いをつなぐ」

講師に小西 裕久 氏（新居浜市瀬戸会館指導員）を迎え、17名が聴講しました。

小西氏は、平成30年3月に新居浜市立泉川中学校長を定年退職した直後、新居浜市にある隣保館「瀬戸会館」の指導員となり、南澤 笑子さんの想いをつなぐ活動を各地で講演しています。

講演の内容は、昭和35年に起こった結婚差別事件です。長野県の被差別部落に生まれた南澤さんは、新居浜市の男性と結婚し、新居浜市内で新婚生活を送っていましたが、夫の親戚が南澤さんの身元調査をして事態は一変しました。夫の家族は南澤さんに過酷な差別を続け、最終的に南澤さんを自死に追い詰めました。

小西氏は「南澤さんの夫に揺るぎない意志があれば、悲しい結末になることはなかった。心の支えとなる人との信頼関係を築きやすくするためにも、人権教育や人権啓発が重要になる」

と語っていました。

参加教員から「同和教育の授業の時、生徒に当事者意識を持たせるには、どうすれば良いでしょうか」との質問に対して、小西氏は「同和教育の時だけ「自分ならどうする」ではいけません。日ごろから身近な事例を基にして「自分ならどうする」と考えさせる授業が良いと思います」と答えていました。

## つくし会 令和3年度受講生募集

つくし会の受講生を募集しています。毎月第3金曜日 19:30 から、一般の方を対象としています。経験豊富な講師による講演会を多数用意しています。

令和3年度は、下記の内容を予定しています。

月	日	曜日	学 習 内 容
4	23	金	新任教諭・新規採用職員研修会 講師 飯田 豊一 氏
5	26	水	元気の出る講演会 講師 中尾 由喜雄 氏
6	18	金	軽スポーツ交流会（ソフトバレー大会）
7	16	金	元気の出る講演会 講師 木元 健 氏 18:30~20:00
8	20	金	小・中・高 人権・同和教育への取り組み発表会
9	17	金	元気の出る講演会 講師 首藤 将文 氏
10	15	金	大会報告会（四国） / いもたき交流会
11	19	金	グループワーク（トークテーマ 人権）
12	16	木	大会・研修報告会（南予/県/全国/大島青松園）
1	21	金	元気の出る講演会 講師 繁柵 義一 氏

2  
月  
の  
作  
品



## 生花教室 令和3年度受講生募集

生花教室の受講生を募集しています。  
毎月第2木曜日に開催しています。

## こども会「解放未来塾」令和2年度活動報告

### 7月30日 開校式

6名の塾生が自己紹介をし、出席者から励ましのことをいただきました。

式の後には、塾生からの提案で、コロナ被害者への差別問題について話し合いました。



解  
放  
未  
来  
塾

## 9月24日 講師との交流会

講師の西山 博 氏（今治市みんなで人権を考える会「ころん」代表）と参加者 16 名が意見交換をしました。西山氏は参加者に、部落差別の解決に向けての活動内容「部落差別の解消、社会貢献、仲間づくり」を語っていました。

## 10月10日 他団体との交流会

宇和島市吉田町遠見子ども会との交流会を行いました。愛南町から 8 名が吉田町を訪問し、15 名の遠見子ども会と討論会をしたり、子ども同士で悩みを打ち明けたりしました。



吉田町遠見子ども会との交流会

## 1月30日 講師との交流会

講師の大湾 昇 氏（徳島県絆創膏の会）には、1 月 30 日開催の人権・同和教育講座のあと、解放未来塾に参加していただき、塾生たちと交流しました。

大湾氏から「解放未来塾では、部落差別をメインにしているかもしれませんが、いろいろな差別問題に取り組んでください。差別問題を考え、差別をなくしていこうとする環境を残すことが、部落差別の解消にもつながってくるからです」との助言をいただきました。

## 解放未来塾 令和3年度塾生募集

解放未来塾の塾生を募集しています。毎月第4木曜日、小学5年生から高校生を対象としています。人権に興味がある子どもたちが、気軽に話し合うことができる空間を用意しています。令和3年度は、下記の内容を予定しています。

月	日	曜日	学 習 内 容
4	22	木	開講式 / フリートーク（トークテーマ 高校生の人権）
5	27	木	いじめ DVD 鑑賞 / フリートーク（トークテーマ いじめ）
6	18	金	軽スポーツ交流会（ソフトバレー大会）
7	16	金	全国高校生集会事前学習会 講師 木元 健 氏 20:00~21:00
8		土・日	全国高校生集会 / 愛媛県友の集い（徳島県）
9	30	木	LGBT DVD 鑑賞 / フリートーク（トークテーマ LGBT）
10	30	土	交流会 菊間子ども会（今治市）
11	13	土	亥の子
12	18	土	クリスマス会
1	28	金	愛南町人権ふぉーらむ（1/29）前日研修会
2		土・日	現地研修 ころん人権劇鑑賞、西山 博 氏との懇談会（今治市） / フィールドワーク（観音寺市）
3	上旬		けじめ式